

7

基本機能

電話をかける（発信）	7-2
電話を受ける（着信）	7-9
通話中の操作	7-10
文字を入力する	7-15
電話帳を利用する	7-29
音を調整する	7-44
留守録を設定する	7-55
マイメニューを利用する	7-60

電話をかける（発信）

利用できるサービス

電波の届く場所であれば、以下の相手に電話をすることができます。

- ・警察 110
- ・消防・救急 119
- ・海上保安庁 118
- ・NTT災害伝言ダイヤル 171 ※1
- ・時報 117
- ・天気予報 177
- ・番号案内 104 ※2
- ・国際電話（ウィルコム国際電話サービス）※3
- ・ポケットベル呼び出し
- ・フリーダイヤル ※4

※1 詳しくはNTT東日本／NTT西日本にお問い合わせください。

※2 PHS電話番号はご案内できません。

※3 手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。「国際電話をかける」（ウィルコム国際電話サービス）（※12-37ページ）

※4 「携帯・PHS OK」または「PHS OK」が表示されている番号が対象です。

■警察、消防・救急、海上保安庁にかけるには

- ・移動しながらでは通話中に電話が切れてしまうことがあるので、いったん止まったうえで通報してください。
- ・PHSからの通報であることを伝えてください。
- ・通報後、警察、消防、海上保安庁から問い合わせの電話がくることがあるので、電源を切ったり移動したりしないでください。

利用できないサービス

- ・電報 115
- ・NTTテレホンセンター 116 ※5
- ・コレクトコール 106
- ・ダイヤルQ²
- ・ナビダイヤル
- ・衛星船舶電話

※5 ウィルコムの電話から116へかけた場合、ウィルコムサービスセンターへつながります。

電話をかける

一般電話に電話をかけるときは、必ず市外局番からダイヤルしてください。電話番号は32桁までダイヤルできます。

1 アンテナをのぼす

2 ダイヤルボタンで相手の電話番号を入力する

入力した電話番号が表示されます。

▶ 電話番号を修正するには

- ①  を押して、修正したい番号にカーソルを移動する
- ②  で番号を消去し、ダイヤルボタンで正しい番号を入力する

3 を押す

「」が点灯し、電話帳に登録されている番号のときは、相手の名前が表示されます。相手が出ると通話ができます。

通話時間が表示されます。

▶ 回線が混んでいてつながらないとき

“ツーツーツー”という話中音が聞こえます。(画面に「おかけなおしてください」と表示されることや、「電波の届かない場所におられるか、電源が入っていないためかかりません」などのアナウンスが流れることもあります。)

4 通話が終了したら、 を押す

「」が消灯し、通話が終了します。

お知らせ

-  を押してからダイヤルしても電話をかけることができます。このとき、ダイヤルしてから約5秒後に発信を行いますので、相手とつながるまでに多少時間がかかります。
- 通話時間の表示は目安です。通話料金の請求とは一致しないことがあります。
- サービスエリア内でも、屋内や車の中、ビルの谷間、地下街やトンネルの中などでは電波が弱くなりますので、聞き取りにくくなったり、途切れたりする場合があります。
- 移動しながら通話していると、一時的に通話が途切れることがあります。これは通話中の公衆基地局より電波の強い公衆基地局へ回線が自動的に切り替わる（ハンドオーバー）のときに起こります。故障ではありません。
- 移動中にサービスエリア外に出てしまうと通話が切れます。切れる寸前に“ピピピッ…”という圏外警告音でお知らせするように設定することもできます。「圏外警告音を設定する」(P.7-51ページ)

より強い電波を探す（アンテナサーチ）

公衆モードの待ち受け中や通話中に、より電波の強い公衆基地局を選択して利用することができます。このアンテナサーチを行うことによって、さらに安定したクリアな通話ができます。

1 待ち受け画面で を約1秒以上押す

より強い公衆基地局を自動的に探します。完了すると完了音が鳴り、「サーチ終了」と表示されます。

お知らせ

- キータッチ音を「OFF」に設定しているときは、完了音が鳴りません。
- アンテナサーチを行っても、状態が変わらないことがあります。
- アンテナサーチを行っても、電波の状態が弱い場所など、周囲の環境によっては、うまくサーチできずに圏外になることがあります。
- アンテナサーチは、公衆モードでのみご利用いただけます。
- ハンズフリー／スピーカ機能の利用中はアンテナサーチは利用できません。

通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する

電話をかけるときに、簡単な操作で発信者番号の通知、非通知を変更することができます。

1 ダイヤルボタンで相手の電話番号を入力する

入力した電話番号が表示されます。

▶ リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモから電話番号を表示させるには

「記録されている電話番号にかける（リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモ）」（※7-5ページ）

2 （メニュー）を押す

3 を押して「2.184」または「3.186」を選択し、（決定）を押す

発信者番号を通知しないで電話をかけるときは「2.184」を、発信者番号を通知して電話をかけるときは「3.186」を選択します。

電話番号の前に、「184」または「186」が入力されます。

4 を押す

相手に電話がかかります。

お知らせ

- 本電話機の発信者番号通知設定が「ON」に設定されていても、電話番号の先頭に「184」を入力して電話をかけると、相手には発信者番号を通知しないで電話をかけることができます。また、発信者番号通知設定が「OFF」に設定されていても、電話番号の先頭に「186」を入力して電話をかけると、相手に発信者番号を通知して電話をかけることができます。「発信者番号通知を設定する（発信者番号通知）」（※11-2ページ）

記録されている電話番号にかける（リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモ）

電話をかけた相手や、発信者番号を通知して電話をかけてきた相手の電話番号は、自動的に記録されます。記録されている内容を表示させて確認したり、電話をかけたりすることができます。また、ダイヤルメモを使用して電話をかけることもできます。

記録される内容

リダイヤル（発信記録）

以前かけた電話番号を日付、時刻とともに記録しています。32桁までの電話番号を最新のものから30件まで記録しています。記録されている電話番号と同じ番号に電話をかけた場合、記録されているデータが新たに電話をかけたときの日付と時刻に更新され、最新のデータとして記録されます。

着信履歴

応答記録

発信者番号通知を設定している相手からの電話に応答したとき、日付、時刻とともに相手の電話番号を32桁まで記録しています。相手から発信者番号が通知されない場合は、電話番号のかわりに非通知理由が記録されます。不在着信記録と合計して最新のものから30件まで記録しています。「電話を受ける（着信）」（※7-9ページ）

不在着信記録

発信者番号通知を設定している相手からの電話に応答しなかったときには、日付、時刻とともに相手の電話番号を32桁まで記録しています。相手から発信者番号が通知されない場合は、電話番号のかわりに非通知理由が記録されます。

応答記録と合計して最新のものから30件まで記録しています。「電話を受ける（着信）」（※7-9ページ）電話に応答しなかったときは、待ち受け画面や着信履歴に「」が表示されます。

ダイヤルメモ

通話中に32桁までの電話番号や数字のメモを取ることができます。記録できる件数は2件までです。「通話中に電話番号や数字をメモする（ダイヤルメモ）」（※7-14ページ）

お知らせ

- リダイヤル、着信履歴、ダイヤルメモの内容は、電池パックを交換する際にも保持されますが、故障、修理、その他取扱いの不注意によって消失する場合があります。
万一、登録した内容が消失した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- リダイヤル、着信履歴のデータがそれぞれ30件を超えた場合は、最も古いデータから削除されます。
- 記録されているリダイヤル、着信履歴、ダイヤルメモの電話番号は、電話帳に登録することができます。「リダイヤルや着信履歴の電話番号を登録する」（※7-34ページ）

リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモで電話をかける

1 待ち受け画面で を押す

最後にかけた電話番号が「リダイヤル1」として表示されます。

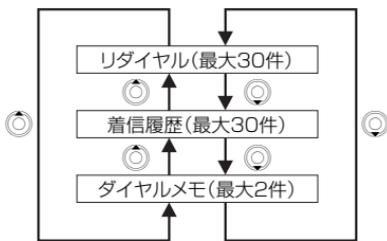
▶ 着信履歴を表示させるには

リダイヤルの表示中に  を押す

▶ 一覧表示と詳細表示を切り替えるには

 (切替) を押す

2 を押して、相手の名前や電話番号を選択する



3 を押す

相手に電話がかかります。

お知らせ

- 電話帳に登録されている相手の記録は、名前が表示されます。
- リダイヤル、ダイヤルメモ表示中に  を押すと「着信履歴1」を表示します。
- 通話中に手順1～2の操作を行うと、リダイヤル、着信履歴、ダイヤルメモの内容を表示できます。

リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモの内容を消去する

リダイヤル、着信履歴、ダイヤルメモの内容を1件ずつ、または一括で消去することができます。一括消去では、リダイヤルの表示中はリダイヤルを、着信履歴の表示中は着信履歴を、ダイヤルメモの表示中はダイヤルメモをそれぞれ一括消去します。

1 待ち受け画面で を押す

もっとも最近にかけた電話番号が「リダイヤル1」として表示されます。

▶ 着信履歴を表示するには

待ち受け画面から  を2回押す

▶ 一覧表示と詳細表示を切り替えるには

 (切替) を押す

2 を押して、消去したいリダイヤル、着信履歴またはダイヤルメモを選択する

▶ リダイヤルを一括消去するとき

リダイヤルのいずれか1つを選択する

▶ 着信履歴を一括消去するとき

着信履歴のいずれか1つを選択する

▶ ダイヤルメモを一括消去するとき

ダイヤルメモのいずれか1つを選択する

3 (メニュー) を押す

4 を押して、「8.個別消去」または「9.一括消去」を選択する

5 (決定) を押す

消去を行うかどうかを確認する画面が表示されません。

6  を押して、「1.はい」を選択する

▶ 消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

7 ○（決定）を押す

選択した内容が消去され、「消去しました」と表示されます。

ポーズダイヤルを利用する

自宅の留守番電話を操作する際の暗証番号や、プッシュホンサービスで利用する番号を「P」以降に入力すると、簡単に操作ができます。また、ポーズダイヤルを利用した電話番号をあらかじめ電話帳に登録しておくこともできます。

ポーズダイヤルを登録する**1** 待ち受け画面で  を押す

電話帳検索画面が表示されます。

2 （新規）を押す

電話帳登録画面が表示されます。

3  を押して「TEL番号1？」を選択し、○（決定）を押す**4** ダイヤルボタンで利用先の電話番号を入力する

一般電話の電話番号を登録するときには、必ず市外局番から入力してください。

▶ 電話番号を修正するには

最後の1桁を消す： を押すすべての桁を消す： を約1秒以上押す**5** （メニュー）を押す**6**  を押して「5.ポーズ」を選択し、○（決定）を押す

画面に「P」が表示されます。

7 ダイヤルボタンで暗証番号などを入力する**8** ○（決定）を押す**9** 「TEL番号1」の分類マークを設定する

「電話番号を入力する」（※7-32ページ）の手順3以降

10 必要に応じて、第2電話番号、名前、メールアドレス、着信音を設定する

「電話帳に登録する」（※7-31ページ）の手順3～6

11 設定した項目を登録する

「電話帳に登録する」（※7-31ページ）の手順7以降

ポーズダイヤルを利用する

1 電話帳から利用先の電話番号を検索する

「電話帳を使って電話をかける」(※7-36ページ)

2 を押す

3 利用先とつながったら、もう一度 を押す

「P」以降の番号が、トーン信号で送信されます。

お知らせ

- 電話番号をダイヤルして電話をかけるときでも、電話番号を入力中に  (メニュー) を押し、「5. ポーズ」を選択することで、ポーズダイヤルが利用できます。

電話を受ける（着信）

かかってきた電話を受けます。

1 着信音が鳴る

相手の発信者番号が通知されてきたときは、画面に電話番号が表示されます。着信LEDの設定に従い、着信LEDが点滅します。「着信LED」(※12-9ページ)

▶ 相手の電話番号を電話帳に登録しているとき

名前が表示されます。

2 アンテナをのぼす

3 を押す

「」が点灯し、相手と通話できます。通話時間が表示されます。

4 通話が終わったら、 を押す

「」が点灯し、通話が終了します。

お知らせ

- 画面に「」（アンテナマーク）が点灯しているときのみ、電話を受けられます。
- 着信の通知方法をバイブレータに設定している場合は、振動によって電話がかかってきたことをお知らせします。
- 着信音が鳴っても、すぐに電話に出られないときには、 を押して着信音を止めることができます。また、バイブレータの振動も同様に止めることができます。
- エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、、 以外であればどのボタンを押しても電話に出ることができます。「エニーキーアンサー」(※12-11ページ)

相手の発信者番号が通知されないとき

相手から発信者番号が通知されてこないときは、非通知理由が画面に表示されます。

- 相手が発信者番号非通知に設定しているとき
「ユーザ非通知」と表示されます。
- 公衆電話からの発信のとき
「公衆電話発信」と表示されます。
- 国際電話などで発信者番号が通知できないとき
「通知不可能」と表示されます。

電話に出ないとき

電話に出なかったときは、待ち受け画面に「」が表示されます。(USBケーブルでパソコンと接続されていない状態でデータ着信があった場合は「」が表示されます。)

「」は、着信履歴を確認すると消灯します。

リマインダーを「ON」に設定しているときは、着信LEDが点滅します。いずれかのボタンを押すと点滅は停止します。「リマインダーを設定する」(※12-10ページ)

お知らせ

- 待ち受け画面に表示される「」や「」は、電池パックを外すと消灯する場合があります。

通話中の操作

受話／スピーカ音量を調節する

通話中に受話音量やスピーカ音量を変えることができます。

1 通話中に を押す

受話音量の調節画面が表示されます。

 を押すごとに、音量が1段階ずつ変更されます。

約3秒以上操作をしないと、自動的に通話画面に戻ります。

お知らせ

- 通話を終了しても、設定した受話音量は次に変更するまで変わりません。
- 通話録音中は、受話音量やスピーカ音量を変えることはできません。「通話を録音する (通話録音)」(※7-11ページ)

通話を保留にする

通話を一時的に中断したいときに保留にします。保留中は、相手に保留音流れ、こちらの音声は聞こえません。

1 通話中に を押す

設定している保留音が相手に流れます。

2 保留を解除するときは、 または を押す

保留が解除され、通話に戻ります。

お知らせ

- 保留音はプリセットメロディとダウンロードメロディから選択できます。「保留音を設定する」(※7-51ページ)
- オフィスモードでは、オフィスシステム(PBX)の保留音が流れます。
- 保留は、グループモードではご利用いただけません。

通話を録音する（通話録音）

通話相手の声を録音できます。録音できるのは最大で4件、1件につき16秒までです。

1 通話中に を押す

“ピピッ”という音が鳴り、相手の声を録音し始めます。16秒たつと“ピピッ”と音が鳴り、自動的に録音が終了します。

▶ 録音を途中で完了させるには

○（決定）を押す

▶ 録音を中止するには

（キャンセル）を押す

■すでに録音件数が4件あった場合

「録音件数がいっぱいです」と表示されたあと、録音の一括消去確認画面が表示されます。

▶ 通話録音をするとき

 を押して「1.はい」を選択し、○（決定）を押す

録音件数が空になりますので、このあと通話録音の操作をやり直してください。

▶ 通話録音を中止するとき

 を押して「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

通話中画面に戻ります。

お知らせ

- 録音の開始や終了の完了音は、相手には聞こえません。
- キータッチ音が「OFF」のときは、録音の開始や終了の完了音は鳴りません。「キータッチ音を設定する」(※7-50ページ)
- 通話録音できる件数は、メモ録音、自作応答メッセージ、および留守録音と合計して4件までです。「メモ録音をする」(※7-52ページ)「留守録応答メッセージを録音する」(※7-55ページ)「留守録を設定／解除する」(※7-57ページ)
- 目覚まし音や電池残量警告音は、通話録音終了後に作動します。
- 録音中に電池パックが外されたときは、それまでの録音内容は消去されます。すでに録音されている内容は消去されません。

通話録音を再生する

1 待ち受け画面で を押す

録音再生メニュー画面が表示されます。

● 録音件数表示

 (青) : 自作応答メッセージ

 (黄) : 録音あり

 (色なし) : 録音なし

2 を押して「録音再生」を選択し、

 (決定) を押す

録音再生一覧画面が表示されます。

未再生の録音データには「」が表示されます。

3 を押して、再生したい通話録音を選択する

4 (決定) を押す

“ピー”という音が鳴り、録音が再生されます。また、再生が終了すると、“ピー”という音が鳴ります。

▶ 音量を調節するには

 を押す

▶ 再生を終了するには

 (スキップ) を押す

▶ 最初から再生するには

 (巻戻し) を押す

▶ スピーカモードに切り替えるには

再生中に  (スピーカ) を押す
元に戻すには  (レシーバ) を押す

お知らせ

- 録音再生一覧画面では、登録されている通話録音、メモ録音、および留守録音が、新しく録音された順に表示されます。「メモ録音を利用する」(※7-52ページ)「留守録音を設定/解除する」(※7-57ページ)
- 目覚まし音やスケジュールアラーム音、または電池残量警報音は、通話録音の再生終了後に作動します。

通話録音を消去する

1 録音再生一覧画面で、 を押して消去したい通話録音を選択する

「通話録音を再生する」(※同じページ内です。)の手順1～2

2 (メニュー) を押す

3 を押して「1.個別消去」を選択し、

 (決定) を押す

4 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

5 (決定) を押す

選択した通話録音が消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 通話録音のほかに、メモ録音や留守録音も消去できます。
- 電源を切っても録音内容は消去されません。

録音した内容を一括消去する

通話録音の他に、メモ録音や留守録音があるときは、すべての録音内容が消去されます。

1 待ち受け画面で を押す

● 録音件数表示

-  (青) : 自作応答メッセージ
-  (黄) : 録音あり
-  (色なし) : 録音なし

2 を押して「録音一括消去」を選択し、 ○ (決定) を押す

3 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○ (決定) を押す

4 ○ (決定) を押す

通話録音やメモ録音、および留守録音がすべて消去されます。

お知らせ

- 自作応答メッセージが録音されている状態で、録音内容の一括消去を行っても、自作応答メッセージは消去されません。
- 録音件数が0件のときは、一括消去を行うことはできません。

手に持たずに通話する

ハンズフリー機能を利用すると、本電話機を手に持たずに通話ができます。
また、スピーカ機能を利用すると通話相手の音声をスピーカで聞くことができます。

1 通話中に を約1秒以上押す

ハンズフリーモードになります。

▶ スピーカモードにするには

ハンズフリーモードのときに  を押す
このあと、 を押すごとに、ハンズフリーモードとスピーカモードが切り替わります。

▶ 音量を調節するには

 を押す

▶ 通常の話に戻るには

 を約1秒以上押す

お知らせ

- 通常の話からハンズフリーモードに切り替わると、受話音量の設定が「小」になります。
- ハンズフリーモードとスピーカモードを切り替えても、音量の設定は変更されません。
- ハンズフリー/スピーカ機能の利用中にも、通話を保留にできます。「通話を保留にする」(※7-10ページ)

通話中に電話番号や数字をメモする（ダイヤルメモ）

通話中に32桁までの電話番号や数字のメモを取ることができます。記録できる件数は2件までです。

1 通話中に （メニュー）を押す

通話中メニューが表示されます。

2 を押して「ダイヤルメモ」を選択し、 （決定）を押す

3 ダイヤルボタンで電話番号などを入力する

▶ 番号を修正するには

最後の1桁を消す： を押す

すべての桁を消す： を約1秒以上押す

4 （決定）を押す

完了音が鳴り、ダイヤルメモが登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- ダイヤルメモが2件登録されている状態で新しいメモを入力すると、古い方のメモが削除されます。

文字を入力する

電話帳やメールの文章作成などで文字を入力します。全角の漢字・ひらがな・カタカナ・英字・数字、半角のカタカナ・英字・数字などを入力できます。

入力する文字の種類を切り替える

本電話機の文字入力方式には、ひらがな・英字・数字を入力して、変換してから文字を確定する「かな漢字変換入力」と、カタカナ・英字・数字を直接入力する「直接入力」があります。文字入力中は、画面に入力モードが表示されます。

◎ 入力する文字の種類を切り替えるには

かな入力モード・直接入力モードで文字入力中に  を押す

または

かな漢字変換入力モードで文字入力中に  を押す

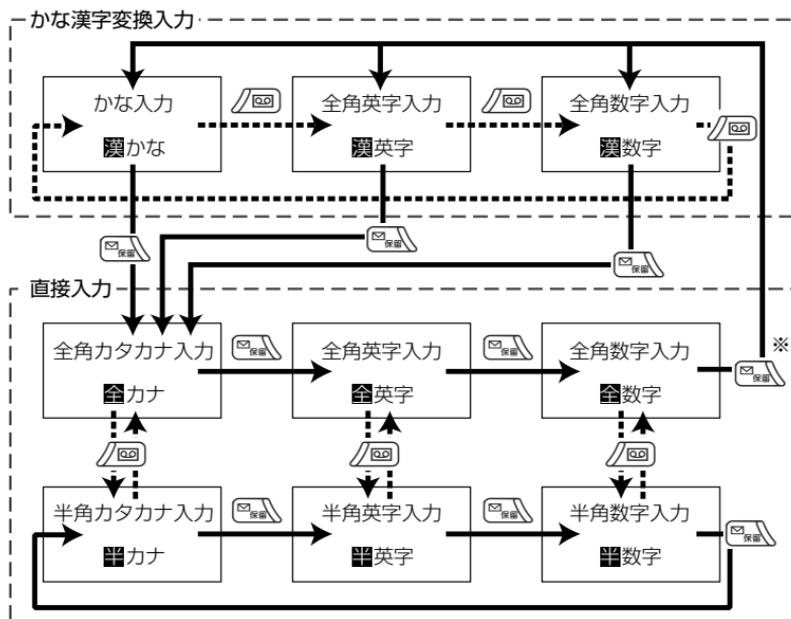
文字入力モードは下図のように切り替わります。

機能により、選択できる文字入力モードは異なります。

◎ 全角入力／半角入力を切り替えるには

直接入力モードで文字入力中に  を押す

文字の全角／半角が切り替わります。



※ かな入力中 (「かな」表示中) に  を押したときは、「かな」→「英字」→「数字」→「かな」のように切り替わります。全角英字入力中 (「英字」表示中) に  を押したときは、「カナ」→「英字」→「数字」→「英字」のように切り替わります。

お知らせ

- 文字の入力中は、入力可能な残りの文字数が「残0009字」のように表示されます。残り文字数の表示は、現在の入力モードが全角か半角かによって変化します。
- Eメールの作成時は、半角のカタカナは入力できません。文字の変換や貼り付け、定型文からの入力などで半角カタカナを入力した場合は、全角のカタカナに置き換えられます。

■入力ボタン一覧表

かな漢字変換入力

ボタン	かな入力 (全角)	英字入力 (全角)	数字入力 (全角)
	あいうえおあいうえお	無効	1
	かきくけこ	a b c A B C	2
	さしすせそ	d e f D E F	3
	たちつとつ	g h i G H I	4
	なにぬねの	j k l J K L	5
	はひふへほ	m n o M N O	6
	まみむめも	p q r s P Q R S	7
	やゆよやゆよ	t u v T U V	8
	らりるれろ	w x y z W X Y Z	9
	わをん、。	無効	0
	記号入力モードへの切り替え		*
	* * ※ ¹ 改行 (約 1 秒以上)	改行 (約 1 秒以上)	# 改行 (約 1 秒以上)
	入力モードの切り替え、変換候補一覧表示中のページ切り替え (前候補) 全角カタカナ変換 (文字入力直後、または変換中)		
	入力モードの切り替え、変換候補一覧表示中のページ切り替え (次候補) 漢字変換中のひらがな変換		
	文字の削除		
	大文字 / 小文字の切り替え ^{※2}		
	入力文字の逆順切替え		無効
	カーソルの上移動、前候補 (漢字変換中) 全カタカナ変換 (文字入力直後、または半カナ変換中)		
	カーソルの下移動、改行 (文末にカーソルがある場合) 漢字変換 (文字入力直後)、次候補 (漢字変換中) 半カタカナ変換 (全カナ変換中)		
	カーソルの左移動 指定文節の長さを 1 つ短くする (漢字変換中)		
	カーソルの右移動 指定文節の長さを 1 つ長くする (漢字変換中)		

※1 濁点、半濁点のつけられる文字を入力した直後に使用できます。

※2 入力中の該当文字のみ切り替え可能です。■で示した文字を切り替えることができます。

直接入力

ボタン	カタカナ入力 (全角/半角)	英字入力 (全角/半角)	数字入力 (全角/半角)
	アイウエオアイウエオ	.@/_-`* ¹	1
	カキクケコ	abcABC	2
	サシスセソ	defDEF	3
	タチツテト	ghiGHI	4
	ナニヌネノ	jklJKLM	5
	ハヒフヘホ	mnoMNO	6
	マミムメモ	pqrPQRS	7
	ヤユヨヤユヨ	tuvTUV	8
	ラリルレロ	wxyzWXYZ	9
	ワヨンー、。スペース	スペース* ⁴	0
	記号入力モードへの切り替え		*
	*。* ² 改行 (約 1 秒以上)	改行 (約 1 秒以上)	# 改行 (約 1 秒以上)
	入力モードの切り替え		
	全角/半角の切り替え		
	文字の削除		
	大文字/小文字の切り替え* ³		
	入力文字の逆順切替え		無効
	カーソルの上移動		
	カーソルの下移動、改行 (文末にカーソルがある場合)		
	カーソルの左移動		
	カーソルの右移動		

※1 半角入力のみ。全角入力時は無効です。

※2 濁点、半濁点のつけられる文字を入力した直後に使用できます。半角入力時は1文字として入力されます。

※3 入力中の該当文字のみ切り替え可能です。■で示した文字を切り替えることができます。

※4 スペースの入力が有効な機能のときのみ使用できます。

文字を入力する

漢字を入力するには、ひらがなで入力してから変換をします。漢字変換前のひらがなは、一度に最大32文字まで入力できます。

長い文字列を入力したときは、複数の文節に区切られて変換されますので、それぞれ文字（漢字・ひらがな・カタカナ）を選択して入力します。

● ボタンを押す回数によって、表示される文字が切り替わります。

例えば、かな入力モードで **[F10]** を押すと、あ→い→う→え→お→あ→…と切り替わります。
「入力ボタン一覧表」(※7-16ページ)

● 入力したい文字が表示されたら、次に入力したい文字が含まれているボタンを押します。

次に入力したい文字が直前に入力したボタンに含まれているときは、**[C]** を押して、カーソルを移動してから入力します。

例えば、「あい」と入力したいとき、**[F10]** を押して画面に「あ」を表示したら、**[C]** を押してカーソルを移動させ、そのあと、**[F10]** を2回押して「い」を表示します。

● 文字に濁点(゜)や半濁点(゜)をつけるには、つけたい文字を入力したあと **[F11]** を押します。

例えば、画面に「へ」を表示中に **[F11]** を1回押すと「べ」、もう一度、**[F11]** を押すと、「べ」と表示されます。

● 入力中の文章を改行するには **[C]** を押します。

すでに入力した文章の途中で改行を入力するには、**[C]** を押して改行したい位置にカーソルを移動し、**[F12]** を約1秒以上押します。機能によっては改行することができません。

● 文字を逆順に切り替えるには **[F13]** を押します。

例えば、**[F20]** を押して「か」と入力したあと **[F13]** を押すと、こ→け→く→き→か…と切り替わります。

● 大文字／小文字を切り替えるには **[Menu]** (大/小) を押します。

小さい「ゃ」や「っ」などや、英字の大文字／小文字を切り替えるには、文字を入力したあと **[Menu]** (大/小) を押します。

■「駅で」と入力する場合の操作例（ライトメールの本文作成の場合）

1 文字入力中に **[F10]** を繰り返し押して、かな漢字入力モードを選択する

2 **[F10]** を4回、**[F20]** を2回、**[F40]** を4回、**[F11]** を1回押す

「えきで」と画面に入力され、入力中の文字に下線が表示されます。

▶ 文字を修正するには

「文章を編集する」(※7-25ページ)

▶ ひらがなのまま確定するには

[C] (決定) を押す

▶ カタカナに変換するには

[C] または **[F10]** を押す
カタカナに変換したあとは、**[C]** を押すと半角カタカナに変換します。

3 **[C]** を押して、漢字に変換する

▶ 漢字への変換を取り消すには

[Menu] (キャンセル) または **[F10]** を押す
ひらがなに戻ります。

▶ 最初の変換で確定するには

手順5に進む

▶ 変換範囲をカタカナにするには

[F10] を押す
カタカナに変換したあとは、**[C]** を押すと半角カタカナに変換します。

4  を押して、変換候補を選択する

変換候補の一覧が表示されます。

▶ 変換したい漢字が表示されないとき

 を押して、変換範囲を変更する
変換範囲を変更しても変換したい文字が表示されないときは、一度文字を消去して、他の読みで入力してください。

■ 連文節を一括変換する

変換する文字列が長いときは、「駅で」「待っています」のように文節に区切って変換されます。

1 ダイヤルボタンを押して、「えきでまっています」と入力する**2**  を押して、漢字に変換する

入力したい文字に変換されなかったときは、 を押して変換範囲を変更することもできます。

5  (決定) を押す

「駅で」が確定されます。

お知らせ

- 手順3のあとに、 (決定) を押すかわりにダイヤルボタンを押すと、変換した文字が確定され、次の文字が入力されます。

3  を押して入力したい漢字を選択し、 (決定) を押す

「駅で」が確定されます。

▶ 変換された文字列をすべて確定するとき

-  (決定) を約1秒以上押す
変換中の文字がすべて確定されます。

4  を押して入力したい漢字を選択し、 (決定) を押す

「待っています」が確定されます。

よく使う語句をユーザー辞書に登録する

よく使う語句をユーザー辞書に登録します。

変換に手間のかかる語句などを登録しておくことで、登録した読みを入力することで簡単に入力することができます。

ユーザー辞書には、最大100件までの単語を登録することができます。1件につき単語と読みをそれぞれ全角10文字(半角20文字)まで登録することができます。

1 待ち受け画面で  (Menuボタン)

  と押す

登録がある場合は、1件目の登録内容が表示されます。登録が1件もない場合は、手順3の登録画面が表示されます。

2  (新規) を押す

新規登録画面が表示されます。

3 登録する単語や語句を入力する

漢字やカタカナなど、変換後の単語や語句を入力します。

「文字を入力する」(≡ 4-5ページ)

4  (決定) を押す**5** 登録する単語や語句の読みを入力する

好みの読み方を入力します。

6  (決定) を押す

単語や語句が登録されます。

お知らせ

- ユーザー辞書の内容は、電池パックを交換する際にも保持されますが、故障、修理、その他取扱いの不注意によって消失する場合があります。
万一、登録した内容が消失した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 登録件数や、メモリがいっぱいのときは、新たに単語や語句を登録できません。登録されている登録単語のなかから、不要なものを消去してください。【登録した語句を個別消去する】(※7-19ページ内です。)

■登録した語句を修正する

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

1 件目に登録されている語句と、その読みが表示されます。また、登録されている件数が表示されます。

2 を押して、修正したい語句を選択する

3 (メニュー) を押す

4 を押して「1.修正」を選択し、 (決定) を押す

5 登録内容を修正する

「よく使う語句をユーザー辞書に登録する」(※7-19ページ)の手順3以降

■登録した語句を個別消去する

1 消去したい語句を表示させる

「登録した語句を修正する」(※7-19ページ内です。)の手順1～2

2 (メニュー) を押す

3 を押して「2.個別消去」を選択し、 (決定) を押す

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

4 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 個別消去を中止するには

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

5 (決定) を押す

登録されている単語や語句が消去されます。

■登録した語句を一括消去する

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 (メニュー) を押す

3 を押して「3.一括消去」を選択し、 (決定) を押す

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

4  を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

5 ○（決定）を押す

もう一度、消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

6  を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

7 ○（決定）を押す

登録した語句がすべて消去され、「消去しました」と表示されます。

記号や絵文字を入力する

記号を入力する

1 文字入力中に  を押す

画面下部に全角記号が表示されます。

▶ 半角記号を入力するには

 を2回押す

2  を押して、入力したい記号を選択する

3 ○（決定）を押す

選択した記号が入力されます。

▶ 続けて記号を入力するとき

（入力）を押す

選択した記号が入力され、引き続き画面下部に記号が表示されます。

入力できる記号は次の通りです。

全角記号

・	@	/	-	_	,	:	?	!
:	*	#	"	¥	\$	%	&	+
=	'	~	^		·	()	<
>	[]	{	}	[]	·	

半角記号

・	@	/	-	_	,	:	?	!
:	*	#	"	¥	\$	%	&	+
=	'	~	^		·	()	<
>	[]	{	}	[]	·	

お知らせ

- 数字入力モードで  を押すと、画面に「*」が入力され、記号入力および区点コード入力を行うことはできません。
- 機能によっては入力できない記号があります。

絵文字を入力する

1 文字入力中に  (メニュー) を押す

2  を押して「1.絵文字」を選択し、
 (決定) を押す

絵文字一覧が表示されます。

絵文字には、対応しているウィルコム携帯電話に送信することができる絵文字と、一般の携帯電話向けWebサイトを閲覧するときに入力可能な、Web入力用絵文字があります。

▶ 絵文字とWeb入力用絵文字を切り替えるには

 または  を押す

3  を押して、入力したい絵文字を選択する

4  (決定) を押す

選択した絵文字が入力されます。

▶ 続けて絵文字を入力するとき

 (入力) を押す

選択した絵文字が入力され、引き続き絵文字一覧が表示されます。

絵文字



Web入力用絵文字



お知らせ

- 入力モードが半角入力のみときは、絵文字は入力できません。「文字の種類を切り替える」(≒ 4-2ページ)
- 文字入力画面によっては、文字入力メニューを利用できない項目があります。
- 絵文字を入力することができるのは、Eメールおよびライトメールの本文、スケジュールの件名・内容・場所、電話帳の名前およびグループ名、署名、定型文、ブックマークのタイトルおよびフォルダのタイトル、画面メモのタイトルです。
- 絵文字は、対応しているウィルコム以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、相手側で正しく表示されないことがあります。
- Web入力用絵文字は、一般の携帯電話向けWebページの閲覧時に絵文字入力が必要な際にご利用ください。

定型文を引用する

自作定型文を作成／編集する

メールなどでよく使う文章を自作定型文として登録しておくこと、入力の手間を省くことができます。自作定型文は20件まで、1件につき全角64文字(半角128文字)まで登録できます。

1 待ち受け画面で (Menuボタン) と押す

定型文が一覧表示されます。
未登録の定型文は「〈未登録〉」と表示されます。

2 を押して作成／編集したい定型文を選択し、 (決定) を押す

定型文の作成／編集画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで文字を入力する

「文字を入力する」(≒ 4-5ページ)

4 (決定) を押す

定型文が作成／編集されます。

お知らせ

- 定型文の内容は、電池パックを交換する際にも保持されますが、故障、修理、その他取扱いの不注意によって消失する場合があります。万一、登録した内容が消失した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

自作定型文、ビジネス、簡単URL、顔文字を引用する

文字入力中に定型文を引用します。定型文は自作定型文のほか、ビジネス・簡単URL・顔文字から選択できます。

■自作定型文を引用する

1 文字入力中に (メニュー) を押す

2 を押して「4. 定型文」を選択し、 (決定) を押す

3 を押して定型文のカテゴリを選択し、 (決定) を押す

自作定型文の一覧が表示されます。

4 を押して、定型文を選択し、 (決定) を押す

選択した定型文が入力されます。

■ 定型文一覧

ビジネス

いつもお世話になっております。	折り返し連絡させていただきます。	道が混んでおります。
お疲れ様です。	ご連絡をお待ちしております。	直行します。
おはようございます。	お伺いさせていただきます。	直帰します。
承知しました。	只今、会議中です。	今から帰ります。
ありがとうございます。	表題の件につきましては	OK です！
宜しく願い致します。	今、電車に乗っております。	Thank you!
申し訳ありません。	電車が遅れております。	

簡単 URL

@pdx.ne.jp	.ac.jp
.pdx.ne.jp	.or.jp
@ezweb.ne.jp	.jp
@docomo.ne.jp	.com
@softbank.ne.jp	.tw
.co.jp	http://
.ne.jp	https://

顔文字

(^_^)	m(_ _)m	(^^;)
(^o^)	(T_T)	(^^ゞ
(^.^)	(:~:)	(;~^A
>_^<	(>_<)	V(^o^)
)^o^((+_+)	φ(..)
(^3^)	(*_*)	\(^o^)/
(^o^)	(@_@)	(?_?)
(^▽^)	(^-^)/	(*_.^*)
(^o^)	(^^ /"	(. . .)
(-_-)	(^^ /"	(~_~)

お知らせ

- 半角のみ入力可能な機能では、自作定型文を引用できません。
- 定型文が 1 件も登録されていないときは、自作定型文を引用することができません。

文章を編集する

文字を挿入する

- 1 文字入力中に  を押して、文字を挿入したい位置にカーソルを移動する

- 2 文字を入力する

カーソル上の文字の前に、入力した文字が挿入されます。

お知らせ

- カーソルの位置が編集中の文章の最後尾にあるときに  を押すと、半角スペースを入力してカーソルが右に移動します。
- 編集中の文章の最後尾がスペースで、そのスペースにカーソルがあたっているときは、 を押すとスペースが消去されます。

文字を消去する

- 1 文字入力中に  を押して、消去したい文字にカーソルを移動する

- 2  を押す

カーソル上に文字がないときは、カーソルの1つ前の文字が消去されます。

▶ 文字列すべてを消去するとき

 を約1秒以上押す

カーソル上の文字以降の文字列がすべて消去されます。

文章をコピー／貼り付けする

文章をコピーします。コピーした文章は、必要ときに貼り付けることができるので、同じ文章を入力する手間が省けます。コピーできる文章は、全角256文字（半角512文字）までです。

■文章をコピーする

編集中の文章をコピーします。また受信メール・送信メールの内容をコピーすることもできます。「メールの文字をコピーする」(≒8-24ページ)

- 1 文字入力中に  (メニュー) を押す

- 2  を押して「2.コピー」を選択し、
 (決定) を押す

画面下端のガイダンスに「始点」が表示されます。

- 3  を押して、コピーしたい文字列の先頭にカーソルを移動し、 (始点) を押す

画面下端のガイダンスの「始点」表示が「終点」に変わります。

- 4  を押して、コピーしたい文字列の最後の文字にカーソルを移動する

始点から終点までの文字列が反転表示されます。

- 5  (終点) を押す

文字列がコピーされ、「コピーしました」と表示されます。

お知らせ

- コピーしようとする文字列の選択範囲が全角256文字（半角512文字）を超えるときは、エラー音が鳴り、それ以上選択範囲を広げることできません。

■ 文章を貼り付ける

- 1 文字入力中に  を押して、コピーした文字列を貼り付けたい位置にカーソルを移動する
- 2  (メニュー) を押す
- 3  を押して、「3. 貼り付け」を選択する

- 4  (決定) を押す

カーソル上の文字の前に、コピーした文章が貼り付けられます。

お知らせ

- 文字列がコピーされていないときは使用できません。

電話帳から引用する

電話帳に登録されている電話番号やメールアドレス、または名前を引用して文章に入力することができます。

- 1 文字入力中に  (メニュー) を押す
 - 2  を押して「5. 電話帳」を選択し、 (決定) を押す
- 電話帳検索画面が表示されます。
- 3 入力したい電話番号やメールアドレス、または名前を検索して、 (決定) を押す

電話帳詳細画面が表示されます。
「電話帳を使って電話をかける」(※P.7-36ページ)

- 4  を押して、入力したい電話番号やメールアドレス、または名前を選択する

- 5  (決定) を押す

選択した電話番号やメールアドレス、または名前が入力されます。

お知らせ

- 電話帳に登録されていないときや、電話帳ロックを設定しているときは利用できません。

ブックマークから引用する

ブックマークに登録されているURLを引用して文章に入力することができます。

- 1 文字入力中に  (メニュー) を押す
 - 2  を押して「8. ブックマーク」を選択し、 (決定) を押す
- ブックマークフォルダの一覧が表示されます。
- 3  を押して入力したいブックマークが登録されているフォルダを選択し、 (決定) を押す

フォルダ内のブックマークが一覧表示されます。

- 4  を押して、入力したいブックマークを選択する

- 5  (決定) を押す

選択したブックマークのURLが入力されます。

個人データから引用する

本電話機に個人データとして登録されている自分の電話番号、メールアドレスを引用して文章に入力することができます。

1 文字入力中に  (メニュー) を押す

2  を押して「9.個人データ」を選択し、
 (決定) を押す

「電話番号」と、オンラインサインアップで取得したメールアドレスおよび設定したメールアドレスが表示されます。

3  を押して「1.電話番号」またはメールアドレスを選択し、 (決定) を押す

▶ 「1.電話番号」を選択したとき

公衆モードの電話番号が入力されます。

▶ メールアカウントを選択したとき

選択したメールアドレスのメールアドレスが入力されます。

リダイヤル、着信履歴、ダイヤルメモから引用する

リダイヤル、着信履歴、またはダイヤルメモに記録されている電話番号を引用して文章に入力することができます。

1 文字入力中に  (メニュー) を押す

2  を押して「6.リダイヤル」を選択し、
 (決定) を押す

リダイヤルの画面が表示されます。

▶ 着信履歴を表示させるには

「7.着信履歴」を選択し、 (決定) を押す
着信履歴の画面が表示されます。

3  を押して、入力したい電話番号を選択する

 または  を押し続けると、着信履歴やダイヤルメモが表示されます。

4  (決定) を押す

選択したリダイヤルや着信履歴、ダイヤルメモの電話番号が入力されます。

お知らせ

- リダイヤル、着信履歴、ダイヤルメモに電話番号が記録されていないときは利用できません。

区点コードで入力する

変換されにくい漢字や記号などを、区点コードで入力することができます。
「区点コード表」(※A-5ページ)

1 文字入力中に [✖] を3回押す

[✖] を押すごとに、全角記号→半角記号→区点コードの順に切り替わり、画面下部にカーソルが表示されます。

2 ダイヤルボタンで区点コードを入力する

入力したコード以降の漢字が表示されます。

3 を押して、入力したい文字を選択する

4 ○ (決定) を押す

選択した文字が入力されます。

▶ 続けて区点コードから入力するとき

 (入力) を押す

選択した文字が入力され、引き続き画面下部に区点コードの文字が表示されます。

お知らせ

- 数字入力モードで [✖] を押すと、画面に「*」が入力され、記号入力および区点コード入力を行うことはできません。

電話帳を利用する

よく電話をかける相手の電話番号などを電話帳に登録しておくことができます。
登録件数は最大で1000件です。

■グループで通話の相手を分類できる

ビジネスや友人など、電話帳に登録する通話の相手を10グループに分類して管理できます。

■電話帳1件につき2つの電話番号を登録できる

電話帳1件の登録につき、TEL番号1とTEL番号2の2つの電話番号が登録できます。

■電話帳1件につき2つのメールアドレスを登録できる

電話帳1件の登録につき、メールアドレス1とメールアドレス2の2つのメールアドレスが登録できます。

■マークで電話番号を分類できる

PHSや会社の電話など、相手の電話番号にマークを付けて分類できます。また、お気に入りのお店などにも、種類に応じてマークを付けることができます。

マークの種類は次の通りです。

- ：指定なし
- ：家
- ：PHS
- ：携帯電話
- ：会社
- ：FAX
- ：ハート
- ：店
- ：飲み屋
- ：レストラン
- ：その他

お知らせ

- 登録した内容は、故障、修理の際、または静電気や電氣的ノイズの影響などで消えてしまうことがあります。大切な内容は必ず、メモや住所録に控えておいてください。

着信者表示機能

発信者番号を通知している相手から電話がかかってきたときに、その電話番号が電話帳に登録されていると、登録されている相手の名前を画面に表示します。

指定着信音機能

特定の電話帳データに着信メロディを登録しておくこと、着信時の呼び出し音の種類でだれから電話がかかってきたのかを知ることができます。

この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。

ピクチャー表示機能

特定の電話帳データにピクチャー登録をしておくこと、着信時に登録した画像が表示され、だれから電話がかかってきたのかを知ることができます。

この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。

電話帳シークレット機能

電話帳データのシークレット設定を「ON」にし、「電話帳シークレットを設定する（電話帳シークレット）」（☞ 7-43 ページ）の電話帳シークレットを「表示しない」に設定すると、電話帳データを表示しないようにすることができます。通常の発信時や着信時の画面にも名前が表示されません。また、シークレット設定を「ON」にして登録した相手に電話をかけても、リダイヤルに記録が残らないようになります。

電話帳に登録する

1 待ち受け画面で を押す

電話帳検索画面が表示されます。

初めて電話帳に登録するときは「登録がありません」と表示されますが、手順2に進んで電話帳への登録を行うことができます。

2 (新規) を押す

電話帳登録画面が表示されます。

3 を押して、入力したい項目を選択する

どの項目からでも入力できますが、「TEL 番号2」、「メールアドレス2」は、「TEL 番号1」、「メールアドレス1」が入力されていないと入力することはできません。また、「TEL 番号1」か「メールアドレス1」のいずれかの項目を入力しないと電話帳に登録することができません。

4 ○ (決定) を押す

入力したい項目の編集画面が表示されます。

5 項目を入力する

- ▶ 「名前&グループ」を入力するとき (※ 7-32ページ)
- ▶ 「TEL 番号1」、「TEL 番号2」を入力するとき (※ 7-32ページ)
- ▶ 「メールアドレス1」、「メールアドレス2」を入力するとき (※ 7-33ページ)
- ▶ 「指定着信音」、「ライトメール着信音」を登録するとき (※ 7-33ページ)
- ▶ 「ピクチャー」を登録するとき (※ 7-34ページ)
- ▶ 「シークレット」を設定するとき (※ 7-34ページ)

6 必要に応じて手順3～5を繰り返し、各項目を入力する

7 (完了) を押す

8 ダイヤルボタンでメモリ No. を入力する

「000」～「999」の3桁の数字を入力します。

▶ 自動でメモリ No. を登録するとき

メモリ No. を入力せずに、手順9へ進みます。メモリ No. 010以降の空いている一番小さいメモリ No. に登録されます。

9 ○ (決定) を押す

電話帳に新規登録され、「No. XXX に登録しました」と表示されます。

▶ すでに登録済みのメモリ No. を入力したとき

上書きしてよいかどうかを確認する画面が表示されます。

上書きをしてよいときは、 を押して「1. はい」を選択し、○ (決定) を押します。「2. いいえ」を選択したときは、もう一度ダイヤルボタンでメモリ No. を入力します。

お知らせ

- ダイヤルロックが設定されているときには、電話帳登録はできません。
- 相手の名前を入力せずに電話帳登録を行ったときは、自動的に「グループ1」へ登録されます。
- 他の人に電話帳を利用されたくないときは、電話帳ロックを設定します。電話帳ロックを設定しておく、暗証番号を入力しないと電話帳機能が使えないようになります。「電話帳をロックする (電話帳ロック)」(※ 7-42ページ)
- 登録件数がいっぱいときは、電話帳に登録できません。まず、登録されている電話帳のなかから不要なものを消去してください。「電話帳の内容を消去する」(※ 7-40ページ)
- よく電話をかける相手をメモリ No. の「000」から「009」に設定しておく、ツータッチダイヤルやスリータッチダイヤルで、簡単に電話をかけることができます。「ツータッチダイヤルで電話をかける」(※ 7-39ページ)「スリータッチダイヤルで電話をかける」(※ 7-39ページ)

■名前とグループを入力する

名前は全角9文字（半角18文字）まで、読みがなは半角で12文字まで入力できます。また、グループ名は変更することができます。「電話帳のグループ名を変更する」（※7-41ページ）

1 名前を入力する

「文字を入力する」（※4-5ページ）

2 ○（決定）を押す

入力した名前の読みが表示されます。

▶ 名前の読みを修正するには

- ① を押す
- ② ダイヤルボタンで正しい読みを入力する

3 ○（決定）を押す

■電話番号を入力する

電話帳1件につき、電話番号を2つまで登録できます。また、電話番号は32桁まで入力することができます。

「TEL番号1」と「TEL番号2」の入力方法は同じですが、「TEL番号2」は、「TEL番号1」が入力されていないと入力することができません。

1 ダイヤルボタンで電話番号を入力する

▶ ハイフン「-」を入力するには

- ① （メニュー）を押す
- ② を押して「6.区切り表示」を選択し、○（決定）を押す

▶ 電話番号を修正するには

- ① を押して、修正したい番号にカーソルを移動する
- ② で番号を消去し、ダイヤルボタンで正しい番号を入力する

2 ○（決定）を押す

3 を押して、設定したい分類マークを選択する

▶ 分類マークをつけないとき

「□」を選択する

4 または ~ を押して、登録したいグループを選択する

5 ○（決定）を押す

入力した名前やグループが電話帳登録画面に表示されます。

「電話帳に登録する」（※7-31ページ）の手順6へ進みます。

4 ○（決定）を押す

入力した電話番号や選択した分類マークが電話帳登録画面に表示されます。

「電話帳に登録する」（※7-31ページ）の手順6へ進みます。

お知らせ

- 「070」から始まる電話番号を入力すると、手順2の画面で「」が自動的に選択されています。また、「090」や「080」から始まる電話番号を入力すると、手順2の画面で「」が自動的に選択されています。

■メールアドレスを入力する

電話帳 1 件につき、メールアドレスを 2 つまで登録できます。メールアドレスは 1 件に半角 64 文字まで入力することができます。

「メールアドレス 1」と「メールアドレス 2」の入力方法は同じですが、「メールアドレス 2」は、「メールアドレス 1」が入力されていないと入力することができません。

1 ダイヤルボタンでメールアドレスを入力する

「文字を入力する」(※ 4-5 ページ)

2 ○ (決定) を押す

3 を押して、設定したい分類マークを選択する

▶ 分類マークをつけないとき

「□」を選択する

4 ○ (決定) を押す

入力したメールアドレスや選択した分類マークが電話帳登録画面に表示されます。

「電話帳に登録する」(※ 7-31 ページ)の手順 6 へ進みます。

■指定着信音／ライトメール着信音を登録する

指定着信音を登録すると、登録した相手から電話がかかってきたときに、ここで設定した着信音が鳴ります。また、ライトメール着信音を登録すると、登録した相手からメールが届いたときに、ここで設定した着信音が鳴ります。

設定できる着信音は、本電話機に初めから用意されているパターン 13 種類、アラーム 2 種類、プリセットメロディ 5 種類、音声 4 種類、またはダウンロードした受信メロディ最大 10 種類です。

登録できる着信音の種類については、「着信音やアラームを設定する」(※ 7-49 ページ)をご覧ください。

1 を押して、着信音を選択する

▶ 選択した着信音を聞くには

 (再生) を押す

選択した着信音が再生されます。

○ (停止) を押すと、着信音の再生を停止し、着信音の選択画面に戻ります。

 (戻る) または  を押すと、着信音を再生したまま着信音の選択画面に戻ります。

▶ 指定着信音／ライトメール着信音を解除するには

「無」を選択する

2 ○ (決定) を押す

選択した指定着信音が登録されます。

「電話帳に登録する」(※ 7-31 ページ)の手順 6 へ進みます。

■ピクチャーを登録する

ピクチャーを登録すると、電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときに、ここで指定した画像が表示されます。

登録できるのは、ピクチャーBOXにある画像です。「ピクチャーBOXを利用する」(※7-29ページ)

1  を押して、設定したい画像を選択する

▶ 画像の内容を確認するには

 (表示) を押す

選択中の画面が表示されます。

 を押して前後の画面を表示することもできます。

 (戻る) または  を押すと、画像の一覧に戻ります。

▶ ピクチャーを解除するには

「無」を選択する

2  (決定) を押す

選択した画像がピクチャーとして登録されます。

「電話帳に登録する」(※7-31ページ)の手順6へ進みます。

■シークレットを設定する

特に他人に知られたくない電話帳のデータをシークレットに設定しておくことができます。この設定をしておくと、「電話帳シークレットを設定する(電話帳シークレット)」(※7-43ページ)の電話帳シークレットを「表示しない」に設定したときに表示されなくなります。

1  を押して、「1.ON」を選択する

▶ シークレット設定を解除するとき

「2.OFF」を選択し、 (決定) を押す

2  (決定) を押す

電話帳データが、シークレット設定されます。

「電話帳に登録する」(※7-31ページ)の手順6へ進みます。

リダイヤルや着信履歴の電話番号を登録する

リダイヤル/着信履歴/ダイヤルメモの電話番号を電話帳に登録することができます。

登録方法には、名前を新しく入力して登録する新規登録と、すでに登録されている電話帳に追加して登録する追加登録があります。

1 登録したい電話番号を表示させる

「リダイヤル/着信履歴/ダイヤルメモで電話をかける」(※7-6ページ)の手順1~2

2  (メニュー) を押す

3  を押して「1.電話帳登録」を選択し、
 (決定) を押す

4  を押して、「1.新規登録」または「2.追加登録」を選択する

▶ 新規登録するとき

「新規登録するとき」(※7-35ページ)

▶ 追加登録するとき

「追加登録するとき」(※7-35ページ)

お知らせ

- 待ち受け画面で電話番号を入力した状態から電話帳登録をすることができます。このときは、番号を入力したあと  (メニュー) を押し、 を押して「1.電話帳登録」を選択し、 (決定) を押します。以降の操作は、手順4以降と同じです。

■新規登録するとき

「リダイヤルや着信履歴の電話番号を登録する」(☞ 7-34ページ)の続きです。

1 ○ (決定) を押す

電話帳登録の画面が表示されます。あらかじめ、選択した電話番号が入力されています。

2 電話帳に登録をする

「電話番号を入力する」(☞ 7-32ページ)の手順2以降

■追加登録するとき

「リダイヤルや着信履歴の電話番号を登録する」(☞ 7-34ページ)の続きです。

1 ○ (決定) を押す

電話帳検索画面が表示されます。前回使用した検索方法に設定されています。「電話帳を使って電話をかける」(☞ 7-36ページ)

2 電話帳を検索し、登録したい名前を選択する

名前検索、グループ検索、マーク検索、メモリNo.検索から、登録したい名前を検索します。「電話帳を使って電話をかける」(☞ 7-36ページ)

3 ○ (決定) を押す

4 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 追加登録を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○ (決定) を押す

5 ○ (決定) を押す

登録する電話番号が表示されます。

6 電話帳登録をする

「電話番号を入力する」(☞ 7-32ページ)の手順2以降

お知らせ

- 電話番号を追加登録する際、すでに電話番号を2つ登録済みのデータを選択したときは、「登録されています 上書きします よろしいですか?」と表示されます。「はい」を選択して○ (決定) を押すと、2つの番号のうちどちらに上書きするかを選択する画面が表示されます。

電話帳を使って電話をかける

電話帳の登録内容は、次の4つの方法で検索できます。

- ・名前検索「名前の50音順一覧で検索する」(※同じページ内です。)
- ・グループ検索「グループ別一覧で検索する」(※7-37ページ)
- ・マーク検索「分類マークで検索する」(※7-38ページ)
- ・メモリNo.検索「メモリNo.で検索する」(※7-38ページ)

■検索方法を選択する

電話帳を呼び出し、お好みの検索方法に切り替えます。

1 待ち受け画面で を押す

前回使用した検索機能の画面が表示されます。

2 (メニュー) を押す

3 を押して「4. 検索方法設定」を選択し、 (決定) を押す

4 を押して検索方法を選択し、 (決定) を押す

選択した検索方法に切り替わります。

名前の50音順一覧で検索する

1 待ち受け画面で を押して検索画面を表示させ、「名前検索」に切り替える

「検索方法を選択する」(※同じページ内です。)

2 検索する名前の読みがなを入力する

入力する読みがなは、すべてを入力しなくても構いません。

「文字を入力する」(※4-5ページ)

3 (決定) を押す

電話帳の登録内容が、50音順に一覧表示されます。入力した読みがなに一致した名前が選択されています。

 を押して50音の行を切り替えることができます。

4 を押して相手の名前を選択し、 (決定) を押す

5 を押して電話番号を選択し、 を押す

相手に電話がかかります。

▶ Eメールを送信するには

「メールアドレス1」または「メールアドレス2」を選択し、 (メール) を押す
「Eメールを作成送信する」(※8-7ページ)

▶ ライトメールを送信するには

「TEL番号1」または「TEL番号2」を選択し、 (メール) を押す
「ライトメールを使用する」(※8-43ページ)

■登録内容を確認するには

長いメールアドレスや電話番号は、下記の手順で表示させることができます。

- ①  (メニュー) を押す
- ② 「1.詳細」を選択し、○ (決定) を押す
 を押すと、メールアドレスなどの各項目の内容を表示します。
 を押すと、詳細画面に戻ります。

お知らせ

- 手順4で○ (決定) を押さずに、 を押しても、相手に電話をかけることができます。電話番号を2つ登録しているときには、TEL 番号1に電話がかかります。
- 50音順の一覧画面で、ダイヤルボタンを押して50音の行を切り替えることができます。ダイヤルボタンに書かれているひらがなが50音の行に対応しています。 は「A」(アルファベット)に、 は「etc」に対応しています。
- オフィスモードのときには、手順4で番号を選択し、○ (決定) を押した後、 を押すだけで、登録されている外線発信番号を自動的につけることができます。もう一度  を押すと、外線発信番号は消えます。「外線発信番号を登録する (外線発信番号)」(※ 13-5 ページ)
- 待受モードが「公衆+オフィス」に設定されている場合は、外線発信するとき、手順4で番号を選択し、○ (決定) を押した後、 を押すと、その発信に限り現在の優先発信モードを切り替えて発信できます。「発信するモードを一時的に切り替える」(※ 13-6 ページ)

グループ別一覧で検索する

- 1 待ち受け画面で  を押して、検索画面を表示させ、「グループ検索」に切り替える

「検索方法を選択する」(※ 7-36 ページ)
 グループに登録されている名前が表示されます。

- 2  を押して、グループ番号を選択する
 を押すごとに表示されるグループが切り替わります。

- 3  を押して、相手の名前を選択する

- 4 ○ (決定) を押す

詳細画面が表示されます。

- 5  を押して電話番号を選択し、 を押す

相手に電話がかかります。

お知らせ

- グループ別の一覧画面で、グループ番号に対応するダイヤルボタンを押して表示するグループを切り替えることができます。

分類マークで検索する

- 1 待ち受け画面で  を押して、検索画面を表示させ、「マーク検索」に切り替える

「検索方法を選択する」(☞ 7-36 ページ)

- 2  を押して、分類マークを選択する

 を押すごとに分類が切り替わります。

- ▶ 分類マークなしで登録した電話番号やメールアドレスを検索するには

「」マークを選択する

- 3  を押して、相手の名前を選択する

- 4 (決定) を押す

詳細画面が表示されます。

- 5  を押して電話番号を選択し、 を押す

相手に電話がかかります。

メモリ No. で検索する

- 1 待ち受け画面で  を押して、検索画面を表示させ、「メモリ No. 検索」に切り替える

「検索方法を選択する」(☞ 7-36 ページ)

- 2 ダイヤルボタンで3桁のメモリ No. を入力する

- 3  を押して、相手の名前を選択する

 を押すごとに、「000」～「990」を移動表示します。

- 4 (決定) を押す

詳細画面が表示されます。

- 5  を押して電話番号を選択し、 を押す

相手に電話がかかります。

ツータッチダイヤルで電話をかける

メモリNo.の下1桁を入力して、メモリNo.000～009に登録した相手のTEL番号1へ簡単に電話をかけることができます。

1 ダイヤルボタンでメモリNo.の下1桁を入力する

2 を押す

TEL番号1に電話がかかります。
相手が電話に出ると通話ができます。

▶ ライトメールを作成するとき

 (ライト) を押す

TEL番号1を宛先にしたライトメール作成画面が表示されます。本文を入力し、ライトメールを送信することができます。

「ライトメールを新規に作成して送信する」(※P.8-43ページ)

▶ Eメールを作成するとき

○ (eメール) を押す

メールアドレス1を宛先にしたEメール作成画面が表示されます。タイトル、本文を入力し、Eメールを送信することができます。

「Eメールを新規に作成して送信する」(※P.8-7ページ)

お知らせ

- ツータッチダイヤルは公衆モードでのみご利用いただけます。

スリータッチダイヤルで電話をかける

メモリNo.の下1桁を2回入力して、メモリNo.000～009に登録した相手のTEL番号2へ簡単に電話をかけることができます。

1 ダイヤルボタンでメモリNo.の下1桁を2回入力する

2 を押す

TEL番号2に電話がかかります。
相手が電話に出ると通話ができます。

▶ ライトメールを作成するとき

 (ライト) を押す

TEL番号2を宛先にしたライトメール作成画面が表示されます。本文を入力し、ライトメールを送信することができます。

「ライトメールを新規に作成して送信する」(※P.8-43ページ)

▶ Eメールを作成するとき

○ (eメール) を押す

メールアドレス2を宛先にしたEメール作成画面が表示されます。タイトル、本文を入力し、Eメールを送信することができます。

「Eメールを新規に作成して送信する」(※P.8-7ページ)

お知らせ

- スリータッチダイヤルは公衆モードでのみご利用いただけます。
- TEL番号2やメールアドレス2が登録されていないときは使用できません。

電話帳の内容を編集する

電話帳に登録された電話番号やメールアドレスなどの各項目を修正することができます。

1 修正したい電話帳データを表示させる

電話帳の一覧表示の他、詳細表示、各登録内容の詳細表示画面からも操作することができます。

2 (メニュー) を押す

3 を押して「2.修正」を選択し、 (決定) を押す

4 修正したい項目を選択し、登録内容を修正する

「電話帳に登録する」(※7-31ページ)の手順3以降

電話帳の内容を消去する

個別消去する

電話帳の登録内容を1件ずつ消去できます。

1 消去したい電話帳データを表示させる

電話帳の一覧表示の他、詳細表示、各登録内容の詳細表示画面からも操作することができます。

2 (メニュー) を押す

3 を押して「3.個別消去」を選択し、 (決定) を押す

4 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 個別消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

5 (決定) を押す

メッセージが表示され、選択した登録内容が消去されます。

一括消去する

1 待ち受け画面で (Menuボタン) (3秒) (3秒) と押す

2 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

3 (決定) を押す

もう一度、消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

4 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

5 (決定) を押す

メッセージが表示され、すべての電話帳データが消去されます。

電話帳のグループ名を変更する

電話帳のグループ名を変更することができます。電話帳のグループ名は、全角7文字（半角14文字）まで入力できます。

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

  と押す

2 を押して、変更したいグループ名を選択する

3 ○ (決定) を押す

4 を押して「1.グループ名変更」を選択し、○ (決定) を押す

5 ダイヤルボタンで新しいグループ名を入力する

「文字を入力する」(☞ 4-5ページ)

6 ○ (決定) を押す

グループ名が変更され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時のグループ名は「グループ1」～「グループ0」に設定されています。

■ 電話帳のグループ名をお買い上げ時の状態に戻すとき

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

  と押す

2 を押して、設定を戻したいグループ名を選択する

3 ○ (決定) を押す

4 を押して「2.出荷設定に戻す」を選択し、○ (決定) を押す

5 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 操作を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○ (決定) を押す

6 ○ (決定) を押す

グループ名がお買い上げ時の状態に戻り、「設定しました」と表示されます。

電話帳をロックする（電話帳ロック）

電話帳ロックを設定すると、他の人に電話帳を利用されることを防止できます。電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときにも、相手の名前を表示しません。また、リダイヤル/着信履歴/ダイヤルメモに記録されている名前も表示されなくなります。

電話帳ロックを設定するには、暗証番号の入力が必要になります。お買い上げ時の暗証番号は「0000」に設定されています。暗証番号は変更することができます。「暗証番号を設定する」(※P.11-8ページ)

電話帳ロックを設定する

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 ダイヤルボタンで暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

▶ 暗証番号を修正するには

最後の1桁を消す： を押す

すべての桁を消す： を約1秒以上押す

3 ○ (決定) を押す

電話帳ロックが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 電話帳ロックを設定中に、 を押して電話帳を呼び出そうとしたときは、「電話帳がロックされています」と表示されたあと、暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を入力し、○ (決定) を押すと、電話帳ロックは解除され、待ち受け画面に戻ります。
- 手順3で暗証番号が一致しないときは、「暗証番号が違います」と表示され、待ち受け画面に戻ります。
- お買い上げ時、電話帳ロックは解除に設定されています。

電話帳ロックを解除する

1 電話帳ロックを設定中に、待ち受け画面で (Menu ボタン) と押す

2 ダイヤルボタンで暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

▶ 暗証番号を修正するには

最後の1桁を消す： を押す

すべての桁を消す： を約1秒以上押す

3 ○ (決定) を押す

メッセージが表示され、電話帳ロックが解除されます。

電話帳シークレットを設定する（電話帳シークレット）

シークレット設定した電話帳データを表示するかどうかを設定することができます。

電話帳シークレット機能を「表示しない」に設定した場合、シークレット設定した電話帳データは電話帳を検索しても表示されません。また、シークレット設定した電話番号から電話がかかってきたときには「ユーザ非通知」と表示され、相手の名前や電話番号は表示されません。

電話帳シークレットの設定を変更するには、暗証番号の入力が必要になります。お買い上げ時の暗証番号は「0000」に設定されています。暗証番号は変更することができます。「暗証番号を設定する」(※P.11-8ページ)

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

  と押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

2 ダイヤルボタンで暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

3 ○ (決定) を押す

電話帳シークレットの設定画面が表示されます。

4 を押して、「1.表示する」または「2.表示しない」を選択する

5 ○ (決定) を押す

設定が完了し、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「表示しない」に設定されています。
- 本機能の設定にかかわらず、シークレット設定が「ON」で電話帳に登録されている電話番号への発信は、リダイヤルには記録されません。
- 電話帳シークレットを「表示しない」に設定した場合でも、指定着信音を設定している相手から電話がかかってきたときは、設定した着信音が鳴ります。
- 電話帳シークレット機能を「表示しない」に設定した場合、シークレット設定した相手からかかってきた電話の着信履歴は「ユーザ非通知」と表示されます。このとき、電話帳シークレット機能を「表示する」に設定することで、相手の名前と電話番号を確認することができます。
- 電話帳シークレット機能を「表示しない」に設定した場合、シークレット設定した相手からのEメールやライトメールを受信したときは、受信メール一覧に表示されず、待ち受け画面には新着メールや未読メールがあることを表すアイコンも表示されません。

音を調整する

着信音量を設定する

着信音量を調節します。設定のしかたは、メニューから設定する方法と、で設定する方法があります。

■メニューから着信音量を設定する

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押して「1. 音量」を選択し、 (決定) を押す

音量を選択する画面が表示されます。

3 を押して、着信音量を選択する

▶ 着信音量を1段階大きくするには

 を1回押す

▶ 着信音量を1段階小さくするには

 を1回押す

■ で着信音量を設定する

1 待ち受け画面で を押す

音量を選択する画面が表示されます。

2 を押して、着信音量を選択する

 を押すごとに、着信音量が変更されます。

▶ 着信音量を確認するには

 (動作) を押す

現在設定中の待受モードでの着信音が鳴ります。

 (停止) を押すと、再生を停止します。

▶ 着信音量を確認するには

 (再生) を押す

現在設定中の待受モードでの着信音が鳴ります。

 (停止) を押すと、再生を停止します。

4 (決定) を押す

着信音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 着信音量を「OFF」に設定しているとき、待ち受け画面には「」が点灯します。
- イヤホンマイクを接続しているとき、着信音はイヤホンから鳴ります。スピーカからは鳴りません。
- イヤホンマイクを接続しているとき、 を押すと受話音量が変更されます。
- お買い上げ時は「中」に設定されています。

バイブレータを設定する

バイブレータのON/OFFを設定します。設定のしかたは、メニューから設定する方法と、で設定する方法の2通りがあります。

■メニューからバイブレータを設定する

1 待ち受け画面で  (Menuボタン)
  と押す

2  を押して「2.バイブレータ」を選択し、 (決定) を押す

3  を押して「1.パイプ+音」または「2.パイプ→パイプ+音」を選択する

「1.パイプ+音」に設定すると、着信を振動と着信音でお知らせをします。また、「2.パイプ→パイプ+音」に設定すると、10秒間振動のみでお知らせしたあと、振動に加えて着信音でお知らせします。

▶ バイブレータをOFFにするとき

「3.OFF」を選択し、 (決定) を押す

▶ 選択したバイブレータの動作を確認するには

 (動作) を押す

 (停止) を押すと、動作が止まります。

4  (決定) を押す

バイブレータが設定され、「設定しました」と表示されます。

■ でバイブレータを設定する

1 待ち受け画面で  を押す

2  (パイプ) を押して、バイブレータONにする

 (パイプ) を押すごとに、バイブレータの「ON」、「OFF」が切り替わります。

お知らせ

- バイブレータを「ON」に設定すると、着信音が鳴ると同時に振動します。バイブレータのみにしたい場合は着信音量を「OFF」に設定してください。
- バイブレータを「ON」に設定しているとき、待ち受け画面には「」が点灯します。
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定すると、着信音やスケジュールのアラーム音、目覚まし音を鳴らさずに、バイブレーションでお知らせします。キータッチ音や確認音なども鳴らなくなります。

1 待ち受け画面で を約1秒以上押す

マナーモードが設定され、「マナーモードを設定しました」と表示されます。待ち受け画面に「」が点灯します。

▶ マナーモードを解除するには

手順1を繰り返す

完了音が鳴り、マナーモードが解除され、「マナーモードを解除しました」と表示されます。

お知らせ

- マナーモードの設定中は、着信音選択、着信音量選択、バイブレーション選択、キータッチ音の設定を行うことができません。

特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）

指定した時間帯に、マナーモード／着信音量／バイブレーション／着信LEDの動作を切り替えることができます。一回のみ、または毎日繰り返し切り替えることができます。

オートサイレントを設定するには、あらかじめ日付・時刻を設定しておく必要があります。「日時を設定する」(※1-18ページ)

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

  と押す

2 を押して「サイレント設定」を選択し、 (決定) を押す

3 を押して、「1.ON 一回のみ」または「2.ON 毎日」を選択する

▶ オートサイレントを解除するとき

「3.OFF」を選択し、 (決定) を押す

4 (決定) を押す

5 ダイヤルボタンでオートサイレントの開始時刻と終了時刻を入力する

▶ 時刻を修正するには

①  を押して、修正したい箇所にカーソルを移動する

② ダイヤルボタンで正しい時刻を入力する

6 (決定) を押す

オートサイレントの種類を選択する画面が表示されます。

7 を押して、オートサイレントを設定したい動作を選択する

マナーモードを「ON」に設定したときは、他の項目を選択することができません。

8 (決定) を押す

9 を押して、「1.ON」または「2.OFF」を選択する

マナーモード

ONに設定すると、指定した時刻にマナーモードとなります。

OFFに設定中はマナーモードの設定に従いません。

着信音量／バイブレータ／着信LED

OFFに設定すると、指定した時刻にそれぞれ着信音量OFF／バイブレータOFF／着信LED OFFとなります。

ONに設定中はそれぞれの設定に従います。

10 (決定) を押す

手順6の画面に戻ります。続けて他の項目を設定するときは手順7～9の操作を繰り返します。

お知らせ

- 設定できる時間は00時00分～23時59分の間です。
- 開始時刻と終了時刻は同じ時刻には設定できません。
- 時刻が設定されていないときは、オートサイレントを設定することができません。
- お買い上げ時、オートサイレントは「OFF」に設定されています。

安全運転モードを設定する

車の運転中や電車の中で電話に出られないときに安全運転モードに設定しておくことで、電話がかかってきても、着信音やバイブレータなどは動作せず、応答メッセージが相手に流れます。

安全運転モードには、本電話機から電話に出られないことをお伝えする電話機応答と、ウィルコムとのネットワークから電話に出られないことをお伝えするネットワーク応答があります。

留守番電話サービスをご利用の場合は、留守番電話センターでメッセージをお預りすることもできます。「留守番電話サービスを利用する(有料)」(P.12-39ページ)

安全運転モードを選択する

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

  と押す

安全運転モードの種類が表示されます。

2 を押して、設定したい安全運転モードを選択する

▶ 「1.電話機留守録」を選択したとき

応答メッセージが流れ、相手のメッセージを録音します。

応答メッセージ：「ただいま移動中のため電話に出られません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話してください」

▶ 「2.ネットワーク応答→留守電」を選択したとき

応答メッセージが流れ、相手のメッセージを録音します。

応答メッセージ：「ただいま運転中のため留守番電話センターでメッセージをお預かりいたします。発信音のあとに60秒以内でメッセージを録音してください」

▶ 「3.ネットワーク応答」を選択したとき

応答メッセージのみが流れ、電話が切れます。
応答メッセージ：「ただいま運転中のため電話に出ることができません。しばらくたってからおかけなおしてください」

3 (決定) を押す

選択した安全運転モードが利用できるようになり、「設定しました」と表示されます。

安全運転モードを設定する

1 待ち受け画面で を約1秒以上押す

安全運転モードが設定され、「安全運転モードを設定しました」と表示されます。待ち受け画面に「」が点灯します。

▶ 安全運転モードを解除するには

手順1を繰り返す

完了音が鳴り、安全運転モードが解除され、「安全運転モードを解除しました」と表示されます。待ち受け画面の「」が消灯します。

お知らせ

- グループモードでは、安全運転モードを利用することができません。
- 「ネットワーク応答→留守電」に設定して留守番電話サービスをご利用になるには、ウィルコムへのお申し込みが必要です。

■ 電話がかかってきたとき

ライトメール受信やEメール自動受信は、通常どおり行われます。ただし、着信動作はせずに、画面の表示のみとなります。

▶ 「電話機留守録」を選択しているとき

応答メッセージ再生中に相手が電話を切ったときは、待ち受け画面に「」が点灯します。

応答メッセージ再生中に  を押し、通話ができます。

相手がメッセージを録音した場合は、待ち受け画面に「」が点灯します。

▶ 「ネットワーク応答→留守電」を選択しているとき

着信後、待ち受け画面には「」が点灯します。相手がメッセージを録音したときは「」が点灯します。

▶ 「ネットワーク応答」を選択しているとき

着信後、待ち受け画面には「」が点灯します。

お知らせ

- 相手に流れる応答メッセージは、固定メッセージです。変更はできません。
- 安全運転モードは、録音件数や留守録設定に関係なく設定できます。
- 安全運転モードで「電話機留守録」を設定中で、録音件数がいっぱいになるときは、相手に「ただいま移動のため電話に出られません。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。」という応答メッセージが流れ、電話が切れます。
- 留守録を設定しているときに安全運転モードを設定すると、留守録の設定は一時的に解除されます。安全運転モードを解除すると、留守録の設定が有効になります。
- 目覚まし音やスケジュールのアラーム音、または電池残量警報音は、応答終了後に作動します。
- 電源を切っても安全運転モードの設定は解除されません。

着信音やアラームを設定する

各待受モードでの着信音、Eメール着信音、ライトメール着信音、スケジュールアラーム音、目覚まし音の種類を設定できます。オフィスモードでは、外線、内線、専用線からの着信を個別に設定できます。設定できる着信音の種類は、本電話機に初めから用意されているパターン13種類、アラーム2種類、プリセットメロディ5種類、音声4種類、OFF（無音）と、ダウンロードしたメロディ最大10件です。

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

  と押す

現在の設定が表示されます。

2 を押して、設定する待受モードや機能を選択し、 (決定) を押す

着信音一覧画面が表示されます。

3 を押して、着信音を選択する

▶ 選択した着信音を確認するには

 (再生) を押す

 (停止) を押すと、再生が終了します。

4 (決定) を押す

着信音が設定され、設定したことをお知らせしたあと、手順1の画面に戻ります。

■着信音一覧

種別	表示	曲名
無音	OFF	—
パターン (13種類)	パターン1～10	—
	プッシュホン	—
	古いプッシュホン	—
	黒電話	—
アラーム (2種類)	アラーム音	—
	目覚ましベル	—
プリセット メロディ (5種類)	モーツァルト K488 3	モーツァルト K488 3
	誰も寝てはならぬ	誰も寝てはならぬ
	バッハ プレリユード	バッハ プレリユード
	ジングル1	ジングル1
	ジングル2	ジングル2
音声 (4種類)	女性「電話です」	—
	女性「メールです」	—
	女性「おはよう」	—
	女性「時間です」	—

上記の表の他、ダウンロードしたメロディを選択することができます。

- お買い上げ時に設定されている着信音は次の通りです。

公衆着信音	パターン 1
Eメール着信音	パターン 2
ライトメール着信音	女性「メールです」
スケジュールアラーム音	アラーム音
目覚まし音	目覚ましベル
オフィス外線着信音	パターン 3
オフィス内線着信音	パターン 4
オフィス専用線着信音	パターン 5
グループ着信音	パターン 9

お知らせ

- 電話帳で指定着信音を設定している相手から電話がかかってきたときは、指定着信音の設定が優先されます。

キータッチ音を設定する

ボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で  (Menu ボタン)  と押す

2  を押して「キータッチ音」を選択し、○ (決定) を押す

キータッチ音が設定されます。

○ (決定) を押すごとに、ON / OFF が切り替わります。

- キータッチ音メニューアイコンの表示

 : ON

 : OFF

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

圏外警告音を設定する

通話中、電波が届かなくなり「圏外」が表示されるときに、警告音を鳴らすかどうかを設定できます。

1 待ち受け画面で (Menuボタン) と押す

2 を押して「圏外警告音」を選択し、 (決定) を押す

圏外警告音が設定されます。

 (決定) を押すごとに、ON / OFF が切り替わります。

● 圏外警告音メニューアイコンの表示



ON



OFF

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

保留音を設定する

保留音の種類を変更できます。本電話機に初めから用意されているプリセットメロディ 5種類と、ダウンロードメロディ最大 10種類の中から選択できます。「着信音一覧」(※7-49ページ)

1 待ち受け画面で (Menuボタン) と押す

2 を押して、保留音を選択する

▶ 選択した保留音を確認するには

 (再生) を押す

 (停止) を押すと、再生が終了します。

3 (決定) を押す

保留音が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「バッハ プレリユード」に設定されています。
- オフィスモードでは、オフィスシステムの保留音が流れます。

相手が出たことを振動で通知する（発信先応答通知）

電話をかけた相手が応答したとき、バイブレータが約1秒振動してそのことをお知らせする機能です。

- 1 待ち受け画面で **Menu** (Menu ボタン)
8 と **5** と押す
- 2 **5** を押して「5.発信先応答通知」を選択し、**0** (決定) を押す
- 3 **5** を押して、「1.ON」を選択する

- 4 **0** (決定) を押す

「設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

メモ録音を利用する

待ち受け中に音声を録音できます。録音できるのは、1件につき最長16秒、最大4件までです。

メモ録音をする

- 1 待ち受け画面で **録音** を押す
録音再生メニューが表示されます。
 - 録音件数表示
 - 1** (青) : 自作応答メッセージ
 - 2** (黄) : 録音あり
 - 3** (色なし) : 録音なし

- 2 **録音** を押して「メモ録音」を選択し、**0** (決定) を押す

- 3 **録音** を押して、「1.はい」を選択する

▶ メモ録音を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、**0** (決定) を押す

- 4 **0** (決定) を押す

"ピー"という音が鳴り、メモ録音が始まります。

- 5 送話口に向かって録音したい内容を話す
16秒たつと"ピー"という音が鳴り、自動的に録音が終了します。

▶ 録音を途中で完了させるには

- 0** (決定) を押す

▶ 録音を中止するには

- Web** (キャンセル) を押す

お知らせ

- メモ録音できる件数は、通話録音、自作応答メッセージ、および留守録音と合計して4件までです。「通話を録音する(通話録音)」(※7-11ページ)「留守録応答メッセージを録音する」(※7-55ページ)「留守録を設定/解除する」(※7-57ページ)
- 録音件数がいっぱい有的时候は、メモ録音を行うことができません。不要な録音データを消去してから、メモ録音をやりなおしてください。「メモ録音を消去する」(※7-53ページ)「録音した内容を一括消去する」(※7-13ページ)
- 目覚まし音やスケジュールアラーム音、電池残量警報音は、メモ録音終了後に作動します。
- メモ録音中に着信があったときは、着信までの内容が1件分として録音されます。
- 録音中に電池パックが外されたときは、それまでの録音内容は消去されます。すでに録音されている内容は消去されません。

メモ録音を再生する

1 待ち受け画面で を押す

録音再生メニューが表示されます。

● 録音件数表示

 (青) : 自作応答メッセージ

 (黄) : 録音あり

 (色なし) : 録音なし

2 を押して「録音再生」を選択し、

 (決定) を押す

録音再生一覧画面が表示されます。

未再生の録音データには「」が表示されます。

3 を押して、再生したいメモ録音を選択する

4 (決定) を押す

"ピー"という音が鳴り、メモ録音が再生されます。また、再生が終了すると、"ピー"という音が鳴ります。

▶ 音量を調節するには

 を押す

▶ 再生を終了するには

 (スキップ) を押す

▶ 最初から再生するには

 (巻戻し) を押す

▶ スピーカモードに切り替えるには

再生中に  (スピーカ) を押す

元に戻すには  (レシーバ) を押す

お知らせ

- 録音再生一覧画面では、メモ録音、通話録音、または留守録音が、新しく録音された順に表示されます。「通話を録音する(通話録音)」(※7-11ページ)「留守録を設定/解除する」(※7-57ページ)
- 目覚まし音やスケジュールアラーム音、または電池残量警報音は、メモ録音再生後に作動します。

メモ録音を消去する

1 録音再生一覧画面を表示させ、 を押して、消去したいメモ録音を選択する

「メモ録音を再生する」(※同じページ内です。)の手順1～3

2 (メニュー) を押す

3 を押して「1.個別消去」を選択し、 (決定) を押す

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

4 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

5 (決定) を押す

選択したメモ録音が消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- メモ録音の他に、通話録音や留守録音も消去できます。
- 電源を切っても録音内容は消去されません。

録音した内容を一括消去する

メモ録音の他に、通話録音や留守録音があるときは、すべての録音内容が消去されます。自作応答メッセージは消去されません。

1 待ち受け画面で を押す

録音再生メニュー画面が表示されます。

● 録音件数表示

-  (青) : 自作応答メッセージ
-  (黄) : 録音あり
-  (色なし) : 録音なし

2 を押して「録音一括消去」を選択し、 ○ (決定) を押す

3 を押して、「1. はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2. いいえ」を選択し、○ (決定) を押す

4 ○ (決定) を押す

メモ録音や通話録音、留守録音がすべて消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 録音件数が0件のときは、一括消去を行うことはできません。

留守録を設定する

「留守録」を使うと、電話に出られない場合など相手にメッセージを流したり、伝言を録音したりすることができます。

電話がかかってくると留守録応答メッセージが流れ、相手からのメッセージを1件につき最長16秒、最大4件まで録音できます。

ご利用いただける留守録応答メッセージには、「ただいま電話に出られません。ピーと鳴りましたらお名前前とご用件をお話してください」という固定応答メッセージと、ご自分の声を録音する自作応答メッセージがあります。どちらかを選択して留守録応答メッセージとして相手に流します。

留守録設定時に着信があると、留守録応答メッセージ再生中にバイブレータが振動し、再生後に録音が始まります。

留守録応答メッセージを録音する

自作応答メッセージを利用するときは、あらかじめ応答メッセージを録音しておく必要があります。自作応答メッセージは最長16秒まで録音できます。

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

  と押す

2 を押して「1.録音」を選択し、

 (決定) を押す

3 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 録音を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

4 (決定) を押す

“ピー”という音が鳴り、自作応答メッセージの録音が始まります。

5 送話口に向かって、応答メッセージを吹き込む

16秒たつと“ピー”という音が鳴り、自動的に録音が終了します。

▶ 録音を途中で完了させるには

 (決定) を押す

▶ 録音を中止するには

 (キャンセル) を押す

お知らせ

- 通話録音、メモ録音、および留守録音が、すでに合計4件録音されている場合は、自作応答メッセージを録音できません。不要な録音を消去してから自作応答メッセージを録音してください。「通話を録音する(通話録音(※7-11ページ)「メモ録音をする」(※7-52ページ)「留守録を設定/解除する」(※7-57ページ))
- 自作応答メッセージを録音できる件数は、1件のみです。すでに自作応答メッセージが録音されているときは、自作応答メッセージを消去してから録音してください。
- 自作応答メッセージを録音中に着信があったときは、初めから録音をやり直してください。
- 目覚まし音やスケジュールアラーム音、および電池残量警報音は、自作応答メッセージ録音終了後に作動します。
- 録音中に電池パックが外されたときは、それまでの録音内容は消去されません。すでに録音されている内容は消去されません。
- 自作応答メッセージは、オフィスモード、グループモードでも録音できます。
- 留守録は本電話機自体の機能です。ウィルコム[®]の提供する留守番電話サービスとは異なります。

留守録応答メッセージを消去する

自作応答メッセージを消去できます。自作応答メッセージを変更するには、現在の自作応答メッセージを消去したあとに、新しい自作応答メッセージを録音します。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押して「2.消去」を選択し、

 (決定) を押す

3 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

4 (決定) を押す

自作応答メッセージが消去され、「消去しました」と表示されます。

▶ 新しい自作応答メッセージを録音するとき

「留守録応答メッセージを録音する」(☞ 7-55 ページ)の手順2以降

お知らせ

- 自作応答メッセージで留守録を設定しているときに自作応答メッセージを消去したときは、留守録応答メッセージは固定応答メッセージに切り替わります。留守録設定は解除されません。また、新たに自作応答メッセージを録音しても、留守録応答メッセージの設定は固定応答メッセージのままとなります。
- 電源を切っても、自作応答メッセージの内容は消去されません。
- 自作応答メッセージは、オフィスモード、グループモードでも消去できます。

留守録応答メッセージを選択する

留守録応答メッセージを固定応答メッセージにするか、自作応答メッセージにするかを選択します。自作応答メッセージを選択するときは、あらかじめ自作応答メッセージを録音しておく必要があります。「留守録応答メッセージを録音する」(☞ 7-55 ページ)

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押して「3.選択」を選択し、

 (決定) を押す

3 を押して、「1.固定」または「2.自作メッセージ」を選択する

▶ 留守録応答メッセージの内容を確認するとき

 (再生) を押す

再生が終了すると、メッセージを選択する画面に戻ります。途中で停止させるには  (キャンセル) を押します。

4 (決定) を押す

選択した応答メッセージが留守録応答メッセージとして設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「固定」に設定されています。
- 自作応答メッセージが録音されていない場合は、手順3で「2.自作メッセージ」を選択することはできません。

留守録を設定／解除する

電話をかけてきた相手のメッセージを、1件につき最長16秒、最大4件まで録音できます。録音件数がいっぱいのおきにかかってきた5件目の電話は、通常の着信となり録音できません。

留守録設定時に着信があると、留守録応答メッセージ再生中にバイブレータが振動し、再生後に録音が始まります。

1 待ち受け画面で を押す

録音再生メニューが表示されます。

● 録音件数表示

 (青) : 自作応答メッセージ

 (黄) : 録音あり

 (色なし) : 録音なし

2 を押して「留守録設定」を選択し、 (決定) を押す

留守録が設定されます。

 (決定) を押すごとに留守録の設定／解除が切り替わります。

留守録の設定中は、待ち受け画面に「」が点灯します。

● 留守録設定メニューアイコンの表示

 : 留守録設定中

 : 留守録解除

お知らせ

- 待ち受け画面で  を約1秒以上押すことで、留守録を設定／解除することもできます。
- 着信中、留守録応答メッセージ再生中、または相手のメッセージを録音中に、 を押して電話に出ることができます。録音中のときは、途中までの伝言が1件分として録音されます。着信履歴には、応答記録として記録されます。
- 電源を切っても留守録の設定は解除されません。
- 留守録を設定しているときに安全運転モードを設定すると、留守録の設定は解除されます。安全運転モードを解除すると、留守録設定に戻ります。
- 留守録音できる件数は、通話録音、メモ録音、および自作応答メッセージと合計して4件までです。「通話を録音する(通話録音)」(※7-11ページ)「メモ録音をする」(※7-52ページ)「留守録応答メッセージを録音する」(※7-55ページ)
- 着信中に  を押して一時的に留守録応答にすることができます。ただし、録音件数がいっぱいのおきは通常の着信となります。

録音されたメッセージを再生／消去する

メッセージが録音されると、待ち受け画面に「」が表示されます。「」の表示は、未再生の留守録音・音声メモ・通話録音を再生すると消灯します。

録音されたメッセージを再生する

1 待ち受け画面で を押す

録音再生メニューが表示されます。

● 録音件数表示

-  (青) : 自作応答メッセージ
-  (黄) : 録音あり
-  (色なし) : 録音なし

2 を押して「録音再生」を選択し、 ○ (決定) を押す

録音再生一覧画面が表示されます。

未再生の録音データには「」が表示されます。

3 を押して、再生したい留守録音を選択する

4 ○ (決定) を押す

“ピー”という音が鳴り、留守録音が再生されます。再生が終了すると“ピー”という音が鳴り、手順2の録音再生一覧画面に戻ります。

▶ 音量を調節するには

 を押す

▶ 再生を終了するには

 (スキップ) を押す

▶ 最初から再生するには

 (巻戻し) を押す

▶ スピーカモードに切り替えるには

再生中に○ (スピーカ) を押す
元に戻すには○ (レシーバ) を押す

お知らせ

- 録音再生一覧画面では、登録されている留守録音、通話録音、またはメモ録音が、新しく録音された順に表示されます。「通話を録音する (通話録音)」(P.7-11ページ)「メモ録音をする」(P.7-52ページ)
- 手順3で一覧から留守録音を選択した状態で  を押すと、発信者番号を通知して録音メッセージを入れた方に電話をかけられます。通話終了後は待ち受け画面に戻ります。
- 目覚まし音やスケジュールアラーム音、または電池残量警報音は、留守録音の再生終了後に作動します。
- 留守録音は、オフィスモード、グループモードでも再生できます。

録音されたメッセージを消去する

1 録音再生一覧画面を表示させる

「録音されたメッセージを再生する」(P.同じページ内です。)の手順1～2

2 を押して消去したい留守録音を選択し、 (メニュー) を押す

3 を押して「1.個別消去」を選択し、 ○ (決定) を押す

4 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○ (決定) を押す

5 ○ (決定) を押す

選択した留守録音が消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 留守録音の他に、通話録音やメモ録音も消去できます。
- 電源を切っても録音内容は消去されません。
- オフィスモード、グループモードでも留守録音を消去できます。

録音内容を一括消去する

留守録音された内容をすべて消去します。留守録音の他に、通話録音やメモ録音があるときは、すべての録音内容が消去されます。

1 待ち受け画面で を押す

● 録音件数表示

- (青) : 自作応答メッセージ
- (黄) : 録音あり
- (色なし) : 録音なし

2 を押して「録音一括消去」を選択し、○ (決定) を押す

3 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○ (決定) を押す

4 ○ (決定) を押す

留守録音や通話録音、およびメモ録音がすべて消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 自作応答メッセージが録音されている状態で、録音内容の一括消去を行っても、自作応答メッセージは消去されません。
- 録音件数が0件のときは、一括消去を行うことはできません。
- オフィスモード、グループモードでも録音内容を一括消去できます。

留守録応答時間を設定する

着信があってから応答メッセージが流れるまでの時間を、0秒、6秒、12秒、30秒、60秒のいずれかに設定することができます。

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

と押す

2 を押して、留守録応答時間を選択する

3 ○ (決定) を押す

留守録応答時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「12秒」に設定されています。
- 留守録応答時間を「0秒」に設定すると、電話がかかってきたときに着信音やバイブレータで通知せずに応答メッセージを流します。
- 留守録応答時間は、オフィスモード、グループモードでも変更できます。
- 留守録とウィルコム[®]の留守番電話サービスの両方を利用しているときは、留守録の応答時間と留守番電話センター呼出時間の短く設定されている方が優先されます。

マイメニューを利用する

よく利用するメニューやブックマークなどをマイメニューに登録すると、手早く操作を行うことができます。

また、不在着信や新着メール、未再生の留守録などがあるときには、マイメニューからアイコンを選択し、対応する操作を簡単に行うことができます。

マイメニューに登録する

メニューやブックマークを最大9件まで登録することができます。

ブックマークを登録する操作は、「マイメニューにブックマークを登録する」(P.9-13ページ)をご覧ください。

- 1 待ち受け画面で  (Menu ボタン) を押す
- 2  を押して、登録したいメニューが含まれているアイコンを選択し、 (決定) を押す
- 3  を押して、登録したいメニューを選択する
- 4  (メニュー) を押す
- 5  (決定) を押す
- 6  を押して、登録したい場所を選択する

7 (決定) を押す

選択したメニューが登録され、「登録しました」と表示されます。

▶ すでに登録済みの場所に登録しようとしたとき

上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。

「1.はい」を選択して  (決定) を押すと、上書きして登録します。

「2.いいえ」を選択して  (決定) を押すと、直前の画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時、マイメニューには、オンラインサインアップ、オフィシャルメニューが登録されています。

マイメニューから操作する

マイメニューに登録したメニューやブックマークを選択します。

待ち受け画面に、不在着信や新着メール、未再生の留守録などをお知らせするアイコンが表示されているときは、そのアイコンを選択して、対応する機能が実行されるようになります。

-  : 不在着信があったとき (音声着信)
-  : 不在着信があったとき (データ着信)
-  : 新着メールがあるとき
-  : 未読メールがあるとき
-  : ウィルコムメールサーバーにEメールがあるとき
-  : メモリがいっぱいでEメールを受信できなかったとき
-  : 未確認のスケジュールがあるとき
-  : 未再生の録音データがあるとき
-  : 留守番電話センターに新しいメッセージがあるとき

1 待ち受け画面で○（決定ボタン）を押す

マイメニュー画面が表示されます。
不在着信などがあるときは、待ち受け画面の最下行に表示されているアイコンが選択できます。

2 を押して、目的のアイコンを選択する

ブックマークアイコンが選択されているときは、ブックマークのURLまたはタイトルが表示されます。

3 ○（決定）を押す

▶ メニューを選択したとき

選択したメニューが呼び出されます。

▶ ブックマークを選択したとき

ブックマークのURLに接続を開始します。

▶ 機能アイコンを選択したとき

選択したアイコンに対応した機能が実行されます。

 : 着信履歴を表示します。「着信履歴の電話番号にかけると」(※ 2-7ページ)

 : 受信メールの最新の1件を表示します。「受信メールを表示する」(※ 8-15ページ)

: ウィルコムメールサーバーに接続し、メールを受信します。「自動でEメールを受信する」(※ 8-13ページ)

: メモリ残量を表示します。「メモリ使用状況を見る」(※ 8-32ページ)

: 未確認のスケジュールを表示します。「スケジュールの内容を表示する」(※ 12-14ページ)

: 録音再生一覧を表示します。「通話録音を再生する」(※ 7-12ページ)「メモ録音を再生する」(※ 7-53ページ)「録音されたメッセージを再生する」(※ 7-58ページ)

: 留守番電話センターに接続します。「留守番電話センターに保存されたメッセージを聞く」(※ 12-39ページ)

お知らせ

- 不在着信などがなく、マイメニューが1件も登録されていないときに○（決定ボタン）を押した場合、「マイメニューは登録されていません」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

マイメニューから消去する

個別消去する

登録されているメニューやブックマークを、1件ずつ消去します。

- 1 待ち受け画面で (決定ボタン) を押す

マイメニュー画面が表示されます。

- 2 を押して、消去したいメニューやブックマークを選択する

- 3 (メニュー) を押す

- 4 を押して「1.個別消去」を選択し、
 (決定) を押す

- 5 を押して「1.はい」を選択する

- ▶ 消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

- 6 (決定) を押す

選択した項目が消去され、「消去しました」と表示されます。

一括消去する

登録されているメニューやブックマークを、すべて消去します。

- 1 待ち受け画面で (決定ボタン) を押す

マイメニュー画面が表示されます。

- 2 (メニュー) を押す

- 3 を押して「2.一括消去」を選択し、
 (決定) を押す

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

- 4 を押して「1.はい」を選択する

- ▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

- 5 (決定) を押す

もう一度、消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

- 6 を押して「1.はい」を選択する

- ▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

- 7 (決定) を押す

マイメニューに登録した内容がすべて消去され、「一括消去しました」と表示されます。